

[illegible]

いで変温・混葉区で低温・軟葉区が最も多かった。

4) 掃立蚕 1 万頭収繭量は各蚕期とも飼育温度でみると、適温区＞低温区＞変温区の順に多く、給与桑の葉質でみると、混葉区＞適葉区＞軟葉区の順に多かった。これらの組合せでは各蚕期とも適温・混葉区が最も多く、次いで適温・混葉区、低温・混葉区と続き、変温・軟葉区と低温・軟葉区が最も少なかった。

5) 繭質は各蚕期とも飼育温度でみると、適温区＞低温区＞変温区の順にまきり、給与桑の葉質でみると、混葉区＞適葉区＞軟葉区の順にまきり。これらの組合せでは、各蚕期とも適温・混葉区と低温・混葉区がまきり、変温・軟葉区が最も劣った。

表 3 繭 調 査

蚕期	試 験 区	掃立蚕 1 万頭収繭量 (kg)	1 匁粒数 (粒)	繭 重 (g)	繭層重 (cg)	繭層歩合 (%)
春	適温・適葉区	21.0	53	2.22	53.1	23.9
	“・軟葉区	20.0	55	2.17	51.4	23.7
	“・混葉区	21.6	52	2.24	53.3	23.8
	低温・適葉区	20.3	56	2.17	51.6	23.8
	“・軟葉区	19.1	59	2.13	50.5	23.7
	“・混葉区	20.8	54	2.20	52.4	23.8
	変温・適葉区	20.0	59	2.12	48.3	22.8
	“・軟葉区	18.6	62	2.05	46.5	22.7
	“・混葉区	20.5	57	2.15	51.2	23.8
初	適温・適葉区	16.3	86	1.77	42.5	24.0
	“・軟葉区	16.1	88	1.76	41.7	23.7
	“・混葉区	16.6	84	1.80	43.4	24.1
	低温・適葉区	16.1	87	1.77	42.1	23.8
	“・軟葉区	15.9	88	1.76	41.5	23.6
秋	“・混葉区	16.3	85	1.79	43.0	24.6
	変温・適葉区	16.0	89	1.75	41.8	23.9
	“・軟葉区	15.8	90	1.73	41.0	23.7
晩	“・混葉区	16.1	87	1.76	42.6	24.2
	適温・適葉区	18.5	74	2.04	49.6	24.3
	“・軟葉区	17.9	78	2.00	49.0	24.5
	“・混葉区	18.7	72	2.05	50.0	24.4
	低温・適葉区	18.2	76	2.02	49.3	24.4
	“・軟葉区	17.4	80	1.97	48.3	24.5
秋	“・混葉区	18.4	74	2.04	49.6	24.3
	変温・適葉区	18.1	77	2.00	48.5	24.3
	“・軟葉区	17.5	81	1.96	47.8	24.4
	“・混葉区	18.5	75	2.03	49.3	24.3

4 考 察

稚蚕期に人工飼料育を実施した蚕児の配蚕後の取扱いに

ついては、その注意事項が呈示されているが、農家で実際にこれを行う場合、稚蚕桑葉育の頃とはほとんど同じような取扱いをしている者が多い現況である。しかし人工飼料育蚕児は 1～2 齢高温飼育されているため 3 齢になっても高温に対する感受性がなお残っているので、3 齢になって急激に温度を低くしてはならず、従来の桑葉育での 3 齢期の適温よりも 1℃ 高く 26℃ ぐらいを目標にして飼育する必要があることを本試験の結果裏付けることができた。

一方、3 齢飼食後は従来蚕児を人工飼料から桑葉に早くなじませるため軟らかめの桑葉を給与するような方法がとられているが、軟らかめの桑葉は飼食後 1 日間だけで、その後は従来と同様な桑葉を給与する必要がある。本試験の結果、3 齢期桑葉に切替えてから終始軟葉で飼育すると虫質と繭質を悪化させる結果が認められたので注意を要する。

5 ま と め

1～2 齢期人工飼料で飼育した蚕児の配蚕後 3 齢期の取扱法としてその飼育温度あるいは桑葉葉質との関係について試験を実施したところ、温度は 26℃ を目標に飼育し、用桑は飼食後 1 日間だけは最大光葉より上部の軟葉を給与し、2 日目以降は従来と同様に最大光葉の 1 枚下から 8 枚めぐらいまでを給与することが虫質及び繭質面からみて最も理想的方法であることが判明した。

従って、3 齢期の飼育環境を整備するため、稚蚕人工飼料育蚕児を飼育する場合は特に春蚕期の補温、初秋蚕期の防暑、晩秋蚕期の防暑と補温に注意し、またその用桑の葉質の選択に留意する必要がある。

参 考 文 献

- 1) 伊藤智夫. 稚蚕の人工飼料育をめぐる. 人工飼料育の技術体系. 蚕糸科学と技術 16(3), 6-10 (1977).
- 2) 伊藤智夫・水田美照・上田 悟. 人工飼料による稚蚕共同飼育. 同上 16(5), 36-43 (1977).
- 3) 西山久雄. 稚蚕人工飼料育蚕児の取扱. 五城農友 6, 20-21 (1979).
- 4) 西山久雄. 人工飼料を利用した稚蚕の飼育法. 家の光 10, 166-169 (1979).
- 5) 佐藤久喜. 1～3 齢人工飼料育蚕児の 4 齢以降における変温の影響について. 東北蚕糸研究報告 1, 19 (1976).
- 6) 佐藤久喜・池田登. 1～2 齢人工飼料育蚕の 3 齢以降における変温の影響について. 東北農業研究 19, 200-202 (1977).